



まちづくり団体の活動紹介

～「yuinowa」を対流拠点とした「まち」「ひと」「しごと」の活性化～ [Coworking & Cafe yuinowa オープン・リノベーション]

結城市都市建設部都市計画課 係長 羽染 和幸

■結城市の北部市街地の概要

本市の北部市街地は、中世からの寺社、見世蔵など歴史的建造物が多く現存し、ユネスコ無形文化遺産に登録されている結城紬などの伝統的な地場産業の間屋や店舗が立ち並び、落ち着いた風情の街並みを形成しています。

■若年層流出という課題

本市においては、地方都市に見られる若年層の東京圏への流出超過が課題としてあり、特に女性にとっては「働く場」がない、働きたい「しごと」がないといったことが人口移動の分析や調査によって明らかになりました。そこで、市として取り組むべきは、企業のIT化を推進し、募集している仕事とやりたい仕事のミスマッチを解消させるとともに、若者が仕事の情報を交換する「場づくり」や「しごと場」の提供であろうという結論に達し、 coworkingスペース「yuinowa」(ゆいのわ)を整備し、新しい働き方に対応でき、人と情報の対流拠点としての役割が果たされることを期待しました。

■yuinowaの概要

株式会社TMO結城（官民共同出資により設立）が主体となり、築87年の旧呉服店をリノベーションし、 coworkingスペースや法人登記が可能な占有シェアオフィス、起業を目指すチャレンジショップ（現在はカフェが入居）、貸し会議室、オープンスペースを設けることにより、様々な人が日常的に集う場やイベント会場など

多様な場面で活用でき、コミュニティの輪を広げていくための拠点としても活用されています。



旧呉服店をリノベーション

運営においては、結城商工会議所等の様々な機関と連携し、企業経営者や投資家及び起業分野、会計分野、デザイン分野など様々なスキルを持つ人材の交流促進を図るとともに、本市における創業者の支援に努めています。

特に、IT人材の育成・交流などについては、ヤフー(株)地方創生推進室との連携、また、 coworkingスペース等の運営に関しては、白鷗大学との連携によって、様々なアドバイスをいただきながら、拠点としての活用促進に努めています。

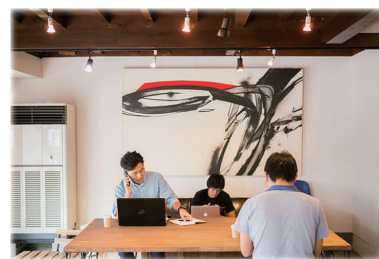
coworkingスペースは、(株)TMO結城が本市からの委託により運営、(株)TMO結城の自主事業により、チャレンジショップスペースとオープンスペースを設置しています。

利用料： coworkingスペース	300円 / 1時間
レンタルスペース	2,000円 / 1時間

◆ coworkingスペース

IT人材の育成・交流・労働の拠点としての役割を果たす場であり、成長産業であるIT分野の「しごと」の創出に貢献します。

集中して仕事や作業に取り組む場所や、打合せや情報交換の場所、出張の際の仕事場などに活用できるスペースとなっており、利用者間の交流促進により付加価値を創出し、利用者の稼働力を強化することを目指しています。



仕事の間として活用

また、東京等に拠点を置く企業のテレワークの拠点としての利用推進や、職住近接による移住受け入れを通じた利用者の定住化も目指しています。

◆チャレンジショップスペース(カフェ「イチハチサン」)

本市での創業希望者向けにスペースを貸出し、飲食店経営の実践を支援しています。貸スペースで試行的に営業できることにより、初期リスクを低減させて創業を後押しし、地域内での創業者を増加させることを目指しています。



現在、入居している大きな窓に面したカフェ「イチハチサン」は、世界各国の家具が調和した落ち着いた空間となっており、作業に集中した後のリフレッシュの場として、また、街なか散策の拠点としても活用されています。



くつろぎの場として活用

◆オープンスペース、中庭

街の魅力とものづくりを楽しむお祭り「結い市」や、音楽祭「結いのおと」、地域での働き方を学ぶ連続講座「むすぶしごとLAB.（※）」の会場として等、各種イベントやワークショップ時に活用されており、多様な人材の交流促進・コミュニティ形成の場とすることで、人的ネットワーク創出を図っています。



くつろぎの場として活用

※第一線で活躍する専門家による講義や対話、フィールドワークなどの多面的な手法を通して、これからの地方での仕事の作り方や働き方のヒントを探すための実践的な学びの場

創業者の支援やコミュニティの活性化につながっています。

■「yuinowa」開設に至るまで

舞台である旧呉服店は民間所有であったため、改修を行い借り受ける許可には時間を要しました。これに関しては、地元出身の若者を中心としたまちづくり活動団体である「結いプロジェクト」のメンバーたちが、「結城のまちを元気にしたい」という一心から、本スペースが存在するエリアで、街なか全体の建物を会場にした祭り「結い市」を約10年間に亘り開催し続けた結果、本建物の所有者を含めた「町衆の旦那方」の信頼を取り付けたからに他なりません。行政主導ではなく、**地元の若者が、自分たちの「まち」を考え、「ひと」を呼び込み、「しごと」の創生につなげた**と言えます。

さらに、「結いプロジェクト」による活気のある活動や「yuinowa」の開設を契機として、他の空き店舗でも活用の流れが起き始めています。

■結いプロジェクトの活動紹介

◆結い市（毎年10月に2日間開催）

神社、見世蔵、酒蔵等市内に点在する魅力的な空間（地域資源）にアーティストや作家など約100組が出展し、手作りの作品などを展示・販売しています。



◆結いのおと（毎年春に開催）

酒蔵、袖問屋、カフェなどを会場に回遊型の音楽コンサート（フェス）を開催。出演アーティストに結城紬を着て演奏していただくなど、結城でしか体験することができないフェスとなっています。



■今後の取り組み

商工会議所とタッグを組んだことにより、移住希望者、起業志望者に対して仕事面のケアをワンストップでできることも大きな強みになっています。「結いプロジェクト」の中心人物である結城商工会議所の野口氏は「今後も人と人とのつながり、“結い”の心を大事にしながら、結城市を**起業も創業も何でもできるまちにしたい**。」と言っています。市としても、各種まちづくり団体等と連携を図りながら、着実にまちづくりを進めて参ります。



結いプロジェクトのメンバーの皆様